



果樹特報

No.6

平成 27 年 6 月 5 日

J A 中野市営農センター

J A 中野市りんご・もも部会

梅雨期間は、果実腐敗性病害（輪紋病・炭疽病・褐斑病）の感染・拡大に好適な高温・多湿状態が続きます。特に 6 月中旬～7 月上旬の薬剤散布が遅れると一気に病気が感染拡大します。長期的に雨が続く予報が出た場合は、散布の前倒しや特別散布を実施する等の対策を講じてください。尚、6 月中旬の薬剤散布は下記の内容を参考にして実施してください。

りんご

6 月中旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

◆ 散布日：6 月 日

◆ 散布量： リットル

散布時期：6 月 15 日～21 日 *注意事項①、②、③、⑦参照

散布薬剤：水

1 0 0 リットル

展着剤

1 0 ml *注意事項④参照

キノンドーフロアブル

1 2 5 ml（14 日前、4 回）

オーソサイド水和剤 8 0

1 2 5 g（14 日前、6 回）

オリオン水和剤 4 0

1 0 0 g（前日、2 回） *注意事項⑤、⑥参照

スイカル

1 0 0 g（カルシウム剤）

散布量：10a 当たり 600 リットル

対象病害虫：炭疽病、輪紋病、斑点落葉病、褐斑病

シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、カイガラムシ類、ケムシ類、（ハダニ類）

【輪紋病・炭疽病・褐斑病防除対策他】 *必ずお読みください。

- ① 曇天・降雨が続いている場合は、上記の目安時期より前倒して散布する。
- ② 炭疽病・輪紋病の感染が心配される場合は、6/25～30 頃にオキシラン水和剤 500 倍（14 日前、4 回）を特別散布する。
- ③ 6 月末まではサビの発生しやすい時期なので高温時の散布は避けること。
- ④ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオン E の 1,000 倍（100 リットルに 100ml）を使用すると薬液付着効果が高まる。
- ⑤ オリオン水和剤 40 は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。
- ⑥ オリオン水和剤 40 に代えて、サイアノックス水和剤の 1,000 倍（45 日前、2 回）でも良い。ただし、極早生種は収穫前使用時期に注意する。
- ⑦ ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル 1,000 倍（7 日前、1 回）を加用する。
- ⑧ カルシウム剤「スイカル」は、ビターピット・果実軟化防止や果実からの油上がり予防、果実の日持ち性向上、新梢の徒長抑制などに効果があるので、必要により加用する。スイカルに代えて、ストピットⅡの 500 倍を使用してもよい。
- ⑨ 園全体によく飛散するように、散布量は多めに設定する。特に園が込み合っている場合は、外周等に死角がでないように注意する。

◆ 次回の薬剤散布予定：7/1～5 頃
引き続き、輪紋病・炭そ病の重要防除です。